

福島県認知症対応型サービス事業開設者研修

カリキュラム（講義・演習360分、現場体験480分）

講義・演習名	目的	内容
1 「認知症高齢者の基本的理解」 （講義・演習80分）	認知症高齢者を医学的・心理的に理解し、自立した生活を送ることの重要性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の原因疾患とそれに伴う障害等の内容、及びそれらが個人の生活活動に及ぼす影響 ・認知症が及ぼす心理面の影響 ・対応の基本的な視点
2 「家族の理解・高齢者との関係の理解」 （講義50分）	同居している家族のみではなく、他の家族も含めた家族の理解と、認知症介護から生じる家庭内の様々な問題や、課題を理解する。さらに認知症高齢者と家族に対する支援の重要性を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症が家庭内に与える影響 ・認知症高齢者を取り巻く家族の課題 1) 家族間での介護観の違い 2) 近隣住民との関係から生じる問題 ・認知症高齢者と家族が安心して暮らせるための支援の基本的視点
3 「家族が求める事業所とは」 （講義60分）	家族介護者の気持ちを理解し、認知症介護から生じる家庭内の課題を、事業所開設者としてどのような形で支援していくかの理解を深め、その重要性を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と家族のずれを理解する ・認知症高齢者を取り巻く家族の課題 ・家族介護負担について考える
4 「認知症高齢者のケアのあり方(求められる地域密着型サービスとは)」 （講義110分）	認知症高齢者が自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援を行うために必要な基本的な考え方を理解する。 地域から求められる事業所になるために、開設者として基準にたったサービスをどのように提供していくか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・その人らしい生活を支援するための環境整備を含めた基本的な視点 ・権利擁護やリスクマネジメントの基本的な視点 ・地域密着型サービスの理念
5 「労働環境について」 （講義60分）	労働環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守の重要性 ・労働環境の整備、点検
6 現場体験 （現場体験480分）	事業者や介護従事者の視点ではなく、利用者の視点からサービスを考えられるようになるために、利用者の生活の一部を疑似体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者体験 1) 車椅子体験 2) 食事体験 ・利用者とのコミュニケーション ・スタッフとの意見交換（利用者の気持ちや生活についての感想等）